

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 4月 1日

事業所名 それいゆ療育センター佐賀

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5				
	2	職員の配置数は適切である	3	2			職員の配置数は満たしております。クラスによってサポートが必要でしたら調整します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	2			業務改善については、職員ミーティング等で話し合い、職員が目標を持って取り組めるよう努めます。必要に応じて運営部へ働きかけを行いたいです。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2			アンケートの保護者向け評価票の結果は職員間で共通理解し、業務改善につながるような取り組みをしたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2			自己評価の結果はホームページで公表しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1			第三者評価の結果を職員で把握し、日々の業務にあたるようにします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			毎月1回職員研修がある。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			保護者の希望調査、お子様の特性や活動時の様子を基に個別支援計画を立てている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1			クラスごとに活動のプログラムを立てています。プログラム立案の際にチームで話し合いが行われるよう再度確認いたします。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			活動の予定、活動内容は、毎回組みなおしている。活動内容は、必要に応じて同じものを用意したり、いつもと違うものを用意したりしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		平日・長期休暇中に関わらず利用時間は1時間のため、状況に応じた必要な支援を提供している。	活動プログラムの設定については目標を持って支援を組み立てられるよう取り組みます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			アンケートに応じて作成している。利用者の特性や集団での様子に応じて、個別や集団で活動していただいている。	

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	3		グループによって、打ち合わせが十分にできているグループとできていないグループがある。	クラス終了後に振り返りと次回クラスでの支援の内容等について話し合うこともありますが、充分ではないクラスもありますので、クラス前後の打ち合わせの重要性を再度確認したいと思います。改善点は職員ミーティングで話し合い、必要な打ち合わせを実施し支援が適切に行われるようにします。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			個人ファイルに記録を残している。日々の記録を元に次の支援方法を考えることがある。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせず支援を行っている	3	2			ガイドラインに沿って活動を組み立てています。ガイドラインについては職員間で再度確認いたします。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	1	3	1	保護者の方を通じてお伝えしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5		現在、ご利用が無い。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			保護者の方を通じて情報共有を行っている。必要に応じて、情報交換をしている。移行支援会議等に参加することもある。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	1	利用は、小学2年生までになっている。	支援内容等については放課後等デイサービス計画、特性シート、支援シート等を使用して情報をお伝えしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	3	行っていない。	活動プログラムは、ご利用者様の社会性・コミュニケーションの特性に合わせて組み立てており、現在事業所内で他者との関わり方を学んでおられる方が多いです。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	1	2	2		
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			ご利用の際に、毎回5分程度の時間を取って報告している。学習後の報告の際や連絡帳を通してお互いに確認し共通理解を図るようにしている。		

関係機関や保護者との連携	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1	グループ学習を中心に放デイでは取り組まれており、保護者のニーズにより、特別セッションなどを通して支援が行われていると思います。 保護者対応の研修等があれば受けたい。		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1			
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	連絡帳や実際の相談についてミーティングで相談、共通理解を図り、必要な助言や支援を行うようにしている。 連絡帳にてやりとりをしている。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	開催される日時を提示している。		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		2	3	会報はありません。 活動・学習内容、季節に合わせた活動などは連絡帳に記入し保護者の方にお伝えする。子どもたちへは事前に予告を行うこともある。	支援会議や連絡帳、直接お話しする等して保護者の方に情報を伝えられるようにします。 お子様には活動の内容や変化についてわかりやすい形でお知らせします。
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	3	行っていない。	ご利用者の社会性の特性を踏まえて地域の方を招待する活動は現在行っておりません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	定期的に行い、保護者の目に入りやすい場所に提示している。		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	定期的に行っている。	定期的に職員で避難経路の確認、訓練を継続して行います。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載している	3	1	1		虐待防止の研修を行い、身体拘束について学ぶ機会を作り、職員で十分に話し合えるようにします。現在は対象の方がいませんが、今後放課後等サービス計画への記載の仕方は職員で共通理解し、身体拘束をしなくてもいいような支援をしていきたいです。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2		3	利用前にアレルギーの有無についてアンケートを取っている。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5					